

## — ユーザーのレポート —

## ポータブル・モニター付除細動器ライフパック 5

菊田好則\* 岡田和夫\*

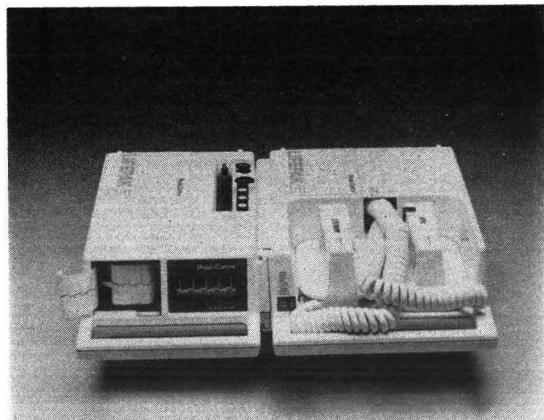
フィジオ・コントロール社製ライフパック 5 は心電図モニターモジュールと除細動器モジュールの 2 つから構成されており、この両モジュールは交換可能な充電式バッテリーを電源にしているため、分離することでそれぞれ単独に使用することができる。

心電図モジュールはカルディオスコープとレコーダーからなっている。レコーダーは熱ペン式で、カルディオスコープとレコーダーとの間には 2.4 秒の遅延時間がある。心電図セレクターにより I, II, III 誘導によるモニターと、両モジュール結合時にはパドル電極からの直接モニターも可能である。また、Freeze ボタンを押すことによりスコープの波形を静止させることができる。そのほかこの心電図モジュールには QRS 検知音、バッテリーが低電位になると点滅するインジケーター、心電図出力端子などが装備されている。

一方、除細動器モジュールの胸骨側パドル電極には電源ボタンと通電ボタンがあり、心尖部側パドル電極にはエネルギー選択ダイヤル、充電ボタン、通電ボタンが付いており、全スイッチがパドルに集約されている。通電エネルギーの選択ダイヤルにより 20, 50, 100, 200, 300, 400 の 6 つのエネルギーを選ぶことができ、充電時間は 400 ジュールまで充電するのに 12.5 秒を必要とする。また、R 波同期モードにもなるが、この場合はモニターモジュールと除細動器モジュールを結合させておかなくてはならない。

バッテリー充電器は一度に 2 個のバッテリーパックを充電することができ、充電時間は 4 時間である。

バッテリーパックは 400 ジュールで通常 32 回の通電が可能で、心電図モニターは 2.5 時間、さらに記録まで



行うと 45 分間使用可能である。

使用上の長所はまず重量 8.5 kg と軽量、小型であり、充電式バッテリーのため、緊急時に何処にでも手軽に持ち運びができる、心電図モジュールは患者移送のストレッチャーなどに置き、移送中のモニターに便利である。また、通電用パドルに各種操作ボタンが集約されて付いているため、術者一人で何度も除細動操作がすばやく簡単に行え、さらに、不完全ながら防水機能があり、屋外での心電図モニターの視認性もよいで緊急災害時にも有用である。

使用上の注意はバッテリーを常に最良の状態に保つことであり、それには定期的にバッテリーを交換して使用することが勧められる。

以上のように、機動性と操作性にすぐれていることから、使用頻度の高い部署には備えておきたい器機の一つである。

\* 帝京大学医学部麻酔学教室